

審 査 の 結 果 の 要 旨

氏 名 大島 碧

論文題目:都市空間における連続的風景の構造・イタリア・ヴィラと現代都市の横断的スケールによる空間統合・

本研究は、現代の都市風景のシークエンスを再構成するための方法論に着目し、イタリアのヴィラにおける「風景の統合（インテグラツィオーネ・シェニカ）」手法の分析とその実験的検証を行ったものである。特に、ヴィラの設計手法の分析および、現代都市での被験者を用いた視線解析実験を行った点が特徴的である。

本研究は、以下3つで構成されている。

① イタリアのヴィラの空間分析を行い、シークエンスの構成手法の検証を行う。

ルネサンス・マニエリスム期のヴィラを対象とし、「インテグラツィオーネ・シェニカ」のデザイン手法を抽出する。

② 都市における歩行者の視線分布の分析を行う。

さらに、ケーススタディとして、東京における都市地域において、37の手法による記述分析を行った。アイマークレコーダーを用いて歩行者の視点から定量的にデータを得ることで、ヒューマンスケールでの視線分布の分析と都市スケールでの空間分析を横断的に行った。

③ ①および②で得られた結果をもとに、今後のシークエンス設計の基礎となるような、建築・都市・ランドスケープの相互関係を横断的に示すことのできる、より効果的な記述方法を検討している。

以上のように本論文は、都市空間の新しい把握方法の提示として非常に優れた内容である。よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。